

平成29年度 第1回

山梨県考古博物館協議会資料

(次 第)

- 1 開 会
- 2 委嘱状・任命状交付
- 3 委員紹介
- 4 事務局職員等紹介
- 5 議 事
 - (1) 平成28年度 考古博物館事業実績について
 - (2) 平成29年度 考古博物館経過・予定事業について
 - (3) 考古博物館利用状況について
 - (4) 委員提言に対する対応・検討状況について
 - (5) その他
- 6 その他
- 7 閉 会

平成29年7月26日 (水)

山梨県立考古博物館
風土記の丘研修センター

資 料 目 次

◇ 平成28年度 考古博物館事業実績について

1	展示活動	1
2	学習会・講座など	3
3	イベント	6
4	学芸員実習・職場体験・インターンシップ	8
5	古代衣装貸し出し	9
6	ボランティアガイドの実施	9

◇ 平成29年度 考古博物館経過・予定事業について

1	展示活動	10
2	学習会・講座など	11
3	イベント	14
4	学芸員実習・職場体験・インターンシップ	16
5	古代衣装貸し出し	16
6	ボランティアガイドの実施	16

◇ 考古博物館の利用状況について

(1)	観覧者数（常設展・特別展）	17
(2)	特別展観覧者数	18
(3)	学校関係利用状況	19
(4)	総利用者数	20

◇ 委員提言に対する対応・検討状況について

◇ 山梨県考古博物館協議会委員名簿

◇ 山梨県附属機関の設置に関する条例等（抜粋）

◇ 平成28年度考古博物館事業実績について

1 展示活動

(1) 第34回特別展

テーマ：『よみがえる武士の魂—鎌倉・平泉と甲斐源氏の武家文化—』

会期：9月28日(水)～11月23日(水・祝) 開催日数：50日

会場：山梨県立考古博物館

入館者：6,044人

概要：武家の名門である甲斐源氏が目指した武家文化の源流を考古資料から読み解くことを目的に開催しました。展示では、甲斐源氏勃興の時代である平安時代末から鎌倉時代にかけての出土品と、武家文化が華開いた鎌倉・平泉のほか各地の出土品などを比較しながら、武家文化が目指した世界を紹介しました。会期中にはシンポジウム「鎌倉・平泉と甲斐源氏の武家文化を語る」も開催しました。

(2) 企画展

① 春季企画展『お肌のキレイな縄文土器—の沢遺跡と酒呑場遺跡—』

会期：4月23日(土)～6月12日(日) 開催日数：45日

会場：考古博物館多目的室

入館者：5,890人

概要：山梨の縄文中期の造形美豊かな土器を生み出した背景には、豊かな自然や精神文化の奥深さがある一方で、山梨の縄文人たちがより精選された胎土を用いて土器製作を行っていたことがあげられます。展示では、重要文化財として既に高い評価を得ている一の沢遺跡(笛吹市)と酒呑場遺跡(北杜市)から出土した土器について、「土肌の美しさ」という視点から紹介しました。

② 夏季企画展『山梨のはにわ—埴輪から見た古墳時代の地域社会—』

会期：7月16日(土)～8月28日(日) 開催日数：40日

会場：考古博物館多目的室

入館者：3,502人

概要：考古学の出土品の中でも特に人気がある埴輪をテーマに、山梨の古墳から出土した埴輪を展示紹介しながら、古墳時代の山梨について考える機会としました。山梨は東日本の中では埴輪の少ない地域ですが、近年では新発見の資料も報告されており、これらについて検討しながら、古墳そのものが当時の社会で果たした機能・役割についても考えてみました。

③ 冬季企画展『甲斐市の出土品Ⅰ—敷島の遺跡—』

会期：12月10日(土)～1月29日(日) 開催日数：36日

会場：考古博物館多目的室

入館者：853人

概要：普段あまり見ることができない県内市町村教育委員会が所蔵する出土品を展示紹介しながら、身近にある遺跡や地域の歴史に親しんでもらう機会として開催しました。今回は、甲斐市内の遺跡のうち、甲斐市教育委員会

が旧敷島町時代からこれまで取り組んできた敷島エリアの発掘調査の成果を紹介しました。

④ 新年干支展『酉』

会 期：1月2日（月）～1月29日（日） 開催日数：20日

会 場：考古博物館エントランスホール

入館者：463人

概 要：干支にまつわる考古資料を紹介するミニ展示です。平成29年は「酉（とり）」で、鎌倉時代の遺跡から生活用具とともに見つかったニワトリの骨や、江戸から明治時代にかけて作られた「泥メンコ」を展示しました。

⑤ 『第14回わたしたちの研究室・研究成果展示会』 開催日数：24日

会 期：2月7日（火）～3月5日（日）

会 場：考古博物館多目的室

入館者：1,217人

概 要：県内の小・中学生のみなさんが考古学や歴史を学ぶ楽しさを知る機会とするために、その研究成果を募集・表彰し、ご応募いただいた作品すべてを展示・公開していく事業で、平成15年度より実施しています。

⑥ 『富士山の日ミニ展示』

会 期：2月11日（土）～2月28日（火） 開催日数：15日

会 場：考古博物館エントランスホール

入館者：326人

概 要：県条例で制定された「富士山の日」（2月23日）の関連イベントとして実施しているミニ展示です。27年度の縄文時代に引き続き、28年度は富士山と弥生時代の遺跡との関わりについて、近年富士山周辺地域で発掘された成果を中心に出土品を紹介しました。会期中には、素焼きの皿「かわらけ」に富士山の絵を描くイベントも開催しました。

⑦ 『風土記の丘望見展』

会 期：3月1日（火）～4月9日（日） 開催日数：35日

会 場：風土記の丘研修センター・エントランスホール

入館者：949人

概 要：考古博物館の体験研修施設（付属施設）である風土記の丘研修センターで開催している企画展で、28年度は「古墳時代の風土記の丘」をテーマに、曾根丘陵周辺の古墳や周溝墓について紹介しました。会期中には、古代衣装の試着や石膏の鏡作りなどの体験イベントも実施しました。

⑧ 『山梨の遺跡発掘展2017』

会 期：3月11日（土）～4月9日（日） 開催日数：26日

会 場：考古博物館多目的室

主 催：山梨県埋蔵文化財センター

入館者：1,194人

概 要：埋蔵文化財センターによる年度ごとの発掘調査の速報展示です。

2 学習会・講座など

(1) 考古学講座

28年度は「古代の甲斐」をテーマに、律令制度の下で中央による地方支配が進められた奈良・平安時代の甲斐国について、最新の発掘調査・研究の成果からご講演いただきました。

- | | | | | |
|-----|----------|----------------|------------------------|---------|
| 第1回 | 6月4日(土) | 「古代の甲斐と考古学：総論」 | 講師：(公財)山梨文化財研究所 平野 修 氏 | 受講者：61人 |
| 第2回 | 6月25日(土) | 「古代の木材利用」 | 講師：山梨県考古学協会 御山 亮済 氏 | 受講者：53人 |
| 第3回 | 7月16日(土) | 「古代の道と駅」 | 講師：富士河口湖町教育委員会 杉本 悠樹 氏 | 受講者：59人 |
| 第4回 | 8月13日(土) | 「発掘された牧」 | 講師：北杜市教育委員会 佐野 隆 氏 | 受講者：45人 |

(2) 館長講座

萩原三雄館長による「考古学研究の最前線」をテーマとする講演会。日本城郭史や日本鉱山史などを専門とする館長が、最新の考古学の研究成果をわかりやすく解説する講座です。28年度は「金銀山遺跡の考古学」をテーマに6回開催されました。

- | | | | |
|-----|-----------|---------------------------|---------|
| 第1回 | 4月23日(土) | 「『黒川金山遺跡』と『湯之奥金山遺跡』の発掘調査」 | 受講者：34人 |
| 第2回 | 6月18日(土) | 「『丹波山金山遺跡』の発掘調査」 | 受講者：34人 |
| 第3回 | 8月20日(土) | 「鉱山白と～粉成(こなし)のシステムの研究」 | 受講者：34人 |
| 第4回 | 12月17日(土) | 「製精練の研究(灰吹法・焼金法・溶解)」 | 受講者：34人 |
| 第5回 | 2月25日(土) | 「金付着土器の発見」 | 受講者：25人 |
| 第6回 | 3月11日(土) | 「『甲州金』の成立への技術的過程」 | 受講者：16人 |

(3) 縄文問答「なるほど！考古博」

新規開催のミニ講座です。考古博物館のエントランスや展示室で講師が実際に出土品を見せながら解説し、縄文時代のさまざまな疑問に答えていただきました。

- | | | | | |
|-----|----------|--------------|-------------------------|---------|
| 第1回 | 6月4日(日) | 「縄文人とイノシシの話」 | 講師：前山梨県埋蔵文化財センター 新津 健 氏 | 受講者：19人 |
| 第2回 | 6月25日(日) | 「有孔鏝付土器の話」 | 講師：考古博物館協力会 長澤 宏昌 氏 | 受講者：28人 |
| 第3回 | 12月4日(日) | 「縄文土器文様の話」 | 講師：山梨県埋蔵文化財センター 今福 利恵 氏 | 受講者：30人 |

(4) 特別展記念シンポジウム「鎌倉・平泉と甲斐源氏の武家文化を語る」

期 日：11月13日(土)

会 場：岡島ローヤル会館

講 師：東京大学・放送大学名誉教授 五味 文彦 氏

平泉町まちづくり推進課 八重樫 忠郎 氏

鎌倉市教育委員会 永田 史子 氏

山梨県富士山世界遺産センター 西川 広平 氏

韮崎市教育委員会 関間 俊明 氏

参加者：130人

(5) 冬季企画展関連講座

「甲斐市の出土品Ⅰ」の開催期間中、長年調査を担当してきた甲斐市教育委員会職員に展示解説していただきました。

期 日：1月7日(土)

会 場：考古博物館多目的室

講 師：甲斐市教育委員会 大嵩 正之 氏

参加者：15人

(6) 縄文王国山梨「縄文王国巡回ゼミ～山梨縄文語り～」

過去の遺跡の発掘調査でわかったことや、発掘当時の裏話などを当時の調査担当者から聞く機会として開催しました。

第1回 日 時：7月3日(日)

会 場：南アルプス市ふるさと文化伝承館

講 師：保坂 康夫 氏

「石(モノ)が語る南アルプス市の縄文世界」

受講者：35人

第2回 日 時：7月16日(土)

会 場：釈迦堂遺跡博物館

講 師：田代 孝 氏

「釈迦堂遺跡をかく掘れり」

受講者：36人

第3回 日 時：8月21日(日)

会 場：山梨県立考古博物館

講 師：末木 健 氏

「中央道建設に伴った発掘調査とその成果」

受講者：43人

第4回 日 時：9月10日(土)

会 場：韮崎市民俗資料館

講 師：山下 孝司 氏

「武田の里で語る縄文世界～謎多き仮面土偶の魅力に迫る～」

受講者：40人

第5回 日 時：10月23日(日)

会 場：ふじさんミュージアム

講 師：上杉 陽 氏

「遺跡から紐解く富士山噴火」

受講者：45人

第6回 日 時：11月27日(日)

会 場：山梨県立博物館

講 師：出月 洋文 氏

- 「黒駒地域に花ひらいた縄文パワーに迫る」 受講者：44人
 第7回 日 時：12月23日(金・祝)
 会 場：北杜市考古資料館
 講 師：新津 健氏
 「回想・金生遺跡～発掘、保存、そして整備」 受講者：49人

(7) ものづくり教室～チャレンジ博物館～（風土記の丘研修センター）

小中学生親子を対象に、学校の休業日である日曜日を利用し、体験学習会を開催。考古学を学ぶ楽しさとももの作り出すよろこびを経験できる企画。

- 第1回 4月17日(日) 「勾玉づくりにチャレンジ」 参加者：18人
 第2回 5月15日(日) 「縄文笛づくりにチャレンジ」 参加者：25人
 第3回 6月12日(日) 「弥生時代の矢じりづくりにチャレンジ」 参加者：25人
 第4回 7月17日・24日・8月7日(日)
 「縄文土器づくりにチャレンジ」 参加者：54人
 第5回 8月21日(日) 「縄文時代のかごづくりにチャレンジ」 参加者：25人
 第6回 9月 4日(日) 「はにわづくりにチャレンジ」 参加者：24人
 第7回 10月16日(日) 「銅剣・銅矛形ペーパーナイフ
 づくりにチャレンジ」 参加者：33人
 第8回 11月13日(日) 「土偶づくりにチャレンジ」 参加者：21人
 第9回 12月 4日(日) 「干支の土鈴づくりにチャレンジ」 参加者：30人
 第10回 1月15日(日) 「トンボ玉づくりにチャレンジ」 参加者：36人
 第11回 2月12日(日) 「弥生時代の笛づくりにチャレンジ」 参加者：15人
 第12回 3月20日(日) 「石製耳飾りペンダントづくりにチャレンジ」 参加者：24人

(8) ものづくり教室～原始古代の技に学ぶ～（風土記の丘研修センター）

高校生以上の一般を対象に、原始古代のすぐれた工芸技術を体験学習する企画。

- 第1回 4月 3日(日) 「トンボ玉作り体験」 参加者：15人
 第2回 5月21日(土) 「琥珀の勾玉作り体験」 参加者：15人
 第3回 6月11日(土) 「土笛作り体験」 参加者： 8人
 第4回 7月10日(日)・23日(土) 「刀の鏝キーホルダー作り体験」

第5回	8月 6日(土)・20日(土)	「トンボ玉作り体験」	参加者：22人
第6回	9月 3日(土)・18日(日)	「青銅剣形ペーパーナイフ作り体験」	参加者：21人
第7回	10月 1日(土)	「刀の鑿キーホルダー作り体験」	参加者：15人
第8回	10月29日(土)・11月19日(土)	「陶器作り教室」	参加者：8人
第9回	12月10日(土)・18日(土)	「青銅鏡作り教室」	参加者：16人
第10回	1月14日(土)・21日(土)・2月4日(土)	「縄文土器・土偶作り教室」	参加者：13人
第11回	2月25日(土)	「草木染め体験」	参加者：50人
第12回	3月19日(日)	「トンボ玉作り体験」	参加者：15人
			参加者：9人

(9) 史跡文化財セミナー

一般の方を対象として、山梨県内の史跡文化財を巡り、郷土の歴史や文化に対する興味・関心、理解を深めました。

第67回	5月15日(日)	「塩山下小田原上条集落を歩く」	参加者：21人
第68回	7月31日(日)	「下吉田を歩く」	参加者：33人
第69回	3月12日(日)	「身延本遠寺周辺を歩く」	参加者：31人

3 イベント

(1) 第28回 風土記の丘こどもまつり(公園管理者と共催)

5月4日(水)・5日(木) 風土記の丘及び風土記の丘研修センター内外

参加者：4,955人

勾玉作り、火起こし体験、古代食試食、狩猟体験や史跡ウォークラリーなど、考古学や風土記の丘に親しんでいただくため、毎年5月の連休期間中に開催しています。

(2) 考古博エントランスホールでのイベント

① 5月22日(日) 『縄文土器で拓本しおりをつくろう!』

参加者：43人

② 11月 6日(日) 『竪穴住居でおはなし会』

参加者：13人

- ③ 11月20日(日) 『県民の日イベント』 参加者：1,289人
- ④ 1月3日(土) 『古代のもちつき』 参加者：42人
- ⑤ 1月22日(日) 『風土記の丘探検隊』 参加者：19人
- ⑥ 2月19日(日) 『かわらけに富士山お絵かき』 参加者：19人
- ⑦ 3月5日(日) 『考古博物館 de 春まつり「なぞ解き考古博」』 参加者：762人

(3) 風土記の丘研修センターでのイベント

- ① 4月17日(日) 『紅花・タデアイの種をまこう』 参加者：21人
- ② 6月25日(土) 『古代米を植えよう』(公園管理者と共催) 参加者：16人
- ③ 6月26日(日) 『山梨の七夕人形をつくろう』 参加者：44人
- ④ 8月25日(木) 『陶器作り』 参加者：25人
- ⑤ 10月9日(日) 『秋のふれあいまつり』(公園管理者と共催) 参加者：2,376人
- ⑥ 10月12日(水) 『黒米稲刈り体験』(公園管理者と共催) 参加者：25人
- ⑦ 11月23日(水・祝) 『落ち葉で焼きいも!びっくり』(公園管理者と共催) 参加者：338人
- ⑧ 12月10日(土) 『方形周溝墓で星を見る会』(公園管理者と共催) 参加者：30人
- ⑨ 12月3日(土)・2月11日(土) 『青銅鏡形チョコレート作り』 参加者：16人
- ⑩ 1月15日(日) 『古代米でもちつき』(公園管理者と共催) 参加者：250人
- ⑪ 3月26日(日) 『古代衣装の試着・写真撮影会』 参加者：19人

(4) 夏休みスタンプラリー

7月16日(土)～8月28日(日) 入館者：990人
スタンプブックを持った入館者で希望者が縄文土器の拓本体験などをする夏休み企画

- ① 『青銅鏡をつくろう!』 参加者：9人
- ② 『トンボ玉をつくろう!』 参加者：39人
- ③ 『勾玉・大珠をつくろう!』 参加者：62人
- ④ 『キーホルダー・マグネットをつくろう!』 参加者：77人
- ⑤ 『プラバン・ストラップをつくろう!』

参加者：140人

⑥ 『ペーパークラフトをつくろう!』

参加者：43人

- (5) 「夏休み自由研究プロジェクト」への参加
県立博物館の呼びかけによる事業への参加。

7月18日(月) アイメッセ山梨(甲府市)

参加者：111人

- (6) 第14回わたしたちの研究室表彰式・研究発表会

2月8日(日) 考古博物館エントランスホール

参加者：82人

- (7) 縄文王国山梨

① 「Jomon FES～山梨縄文まつり～」

日時：10月30日(日) 12:00～19:30

会場：甲府駅北口よっちゃばれ広場

内容：山梨の優れた縄文文化を広く発信すべく開催したイベント。狩猟体験、火起こしなどの体験メニューのほか、縄文芸術の高さと見どころを語るトークショーや古代音楽を再現したライブステージなどが行われました。

参加者：約5,000人

② 「縄文夜会」

日時：9月3日(土) 16:30～20:30

会場：南アルプス市ふるさと文化伝承館

内容：南アルプス市教育委員会・南アルプス市ふるさと文化伝承館との共催によるイベント。

参加者：518人

- (8) その他のイベント

11月6日(日) 古代体験フェスティバル(会場：兵庫県立考古博物館)

参加者：183人

- (9) 原始・古代の技術体験学習(風土記の丘研修センター)

① 火起こし体験	参加者：5,283人
② 勾玉作り	参加者：3,016人
③ トンボ玉作り	参加者：13人
④ 青銅鏡作り	参加者：15人
⑤ 拓本しおり作り	参加者：23人
⑥ 土鈴作り	参加者：57人

4 学芸員実習・職場体験・インターンシップ

高校・大学生等の就職先選定に先立つ職場実習であるインターンシップ、主に中学生による職場体験(10校・19名)、大学生の学芸員資格取得のための学芸員実習は8月2日～8月12日に1名を受け入れました。

学芸員実習 8月2日～12日 帝京大学 1人

5 古代衣装貸し出し

弥生～古墳時代の貫頭衣、古墳時代の豪族の衣服である胡服や巫女の服、古墳～奈良時代の女官や官吏の服を貸し出し、学校教育やイベントに活用しました。

4月27日(水)～5月20日(金)	忍野小学校
10月11日(火)～10月22日(土)	あけぼの支援学校
10月15日(土)～10月23日(日)	海老名市教育委員会
11月1日(火)～11月23日(水)	袖ヶ浦市郷土博物館

合計：4件

6 ボランティアガイドの実施

考古博物館協力員に研修を受けていただき、ボランティアガイドとして来館者の展示解説を実施。総勢17名で活動。

4月	4日間(延べ4人;開館日数26日)
5月	6日間(延べ9人;開館日数27日)
6月	11日間(延べ12人;開館日数26日)
7月	13日間(延べ19人;開館日数27日)
8月	8日間(延べ12人;開館日数27日)
9月	8日間(延べ11人;開館日数20日)
10月	4日間(延べ5人;開館日数27日)
11月	8日間(延べ8人;開館日数20日)
12月以降	無し

◇ 平成29年度考古博物館経過・予定事業について

1 展示活動

(1) 第35回特別展

テーマ：『ひつぎのヒミツ—棺から読み解く古墳時代—』

会 期：10月4日（水）～11月23日（木・祝） 開催日数46日

会 場：山梨県立考古博物館

概 要：古墳に埋納された「棺」をテーマに、山梨と各地の出土品を比較展示しながら、古墳時代の葬制と他界観について考える機会とします。古墳において遺体を納める容器である棺は、木棺・石棺・埴輪棺・陶棺など材質で分けられ、さらにこれらは諸形態に分類され、古墳の移り変わりとともに多様な棺が存在します。展示では、これらが埋納された背景について、各地の古墳で発掘された現存する木棺・石棺・陶棺などを様々な副葬品とともに紹介しながら、この時代の人々の死生観・来世観の変遷を垣間見ていきます。

(2) 企画展

① 春季企画展『甲府城下町の賑わい』

会 期：4月22日（土）～6月11日（日） 開催日数49日

会 場：考古博物館多目的室

入館者：6,453人

概 要：甲府城を中心とした武家屋敷地などを含む甲府城下町遺跡は、これまで甲府城跡と合わせて70ヶ所以上の地点で発掘調査が行われており、絵図の調査などと併せて、当時の様相が明らかにされつつあります。また、近年では金の精製錬に伴う鍛冶遺構の発見など、新発見資料も報告されています。展示では、近年の調査資料を中心に、近世甲府の賑わいの歴史を紹介しました。

② 夏季企画展「考古博の土偶—縄文王国の土偶大集合—」

会 期：7月15日（土）～8月27日（日） 開催日数38日

会 場：考古博物館多目的室

概 要：考古博物館が所蔵する土偶約500点を一堂に展示しています。一の沢遺跡や酒呑場遺跡（重要文化財）をはじめ、山梨を代表する土偶を展示することにより、土偶の変遷を紹介するとともに、縄文時代の信仰について紹介しています。また、夏休み期間中の開催であることから、会期中は小・中学生を対象に土偶作りやクイズラリー、土偶のイラストを描くなどのイベントを開催しています。

③ 冬季企画展「甲斐市の出土品Ⅱ—竜王・双葉の遺跡—」

会 期：12月9日（土）～1月28日（日） 開催日数36日

会 場：考古博物館多目的室

概 要：28年度の旧敷島町エリアに引き続き、旧竜王町・双葉町エリアの遺跡を紹介します。

- ④ 新年干支展『戌』
 会 期：1月2日(火)～平成30年1月28日(火) 開催日数19日
 会 場：考古博物館エントランスホール
- ⑤ 『第15回わたしたちの研究室・研究成果展示会』
 会 期：2月10日(土)～3月4日(日) 開催日数20日
 会 場：考古博物館多目的室
- ⑥ 『富士山の日ミニ展示』
 会 期：2月10日(土)～2月28日(火) 開催日数16日
 会 場：考古博物館エントランスホール
- ⑦ 『風土記の丘望見展』
 会 期：3月3日(土)～4月8日(日) 開催日数：33日
 会 場：風土記の丘研修センター・エントランスホール
- ⑧ 『山梨の遺跡発掘展2018』
 会 期：3月10日(土)～4月8日(日) 開催日数：25日
 会 場：考古博物館多目的室
 主 催：山梨県埋蔵文化財センター

2 学習会・講座など

(1) 考古学講座

今年度は「石の文化史」をテーマに開催しています。「石」は、人類にとって身近な素材として、旧石器時代から現代に至るまで、道具・建築用材・儀礼・宗教など、幅広く活用され、バリエーションに富んだ文化を現在に伝えています。最新の考古学成果をもとに、山梨の石文化について考えます。

- 第1回 6月 3日(土) 「石材の獲得・流通・使用
 —旧石器・縄文の生活と石—
 講師：山梨県埋蔵文化財センター 柴田 亮平 氏 受講者：48人
- 第2回 6月24日(土) 「配石遺構と石棒—縄文時代の信仰と石—
 講師：北杜市教育委員会 村松 佳幸 氏 受講者：65人
- 第3回 7月15日(土) 「山梨の石室と積石塚」
 講師：山梨県埋蔵文化財センター 熊谷 晋祐 氏 受講者：45人
- 第4回 8月 5日(土) 「自慢の石積み技術」
 講師：山梨県教育庁学術文化財課 久保田 健太郎 氏

(2) 館長講座

萩原三雄館長による「考古学研究の最前線」をテーマとする講演会。日本城郭史や日本鉱山史などを専門とする館長が、最新の考古学の研究成果をわかりやすく解説する講座です。今年度は「戦国大名武田氏の考古学」をテーマに6回開催します。

- 第1回 4月22日(土) 「武田信玄と創作された史跡」
 受講者：58人

第2回 6月17日(土) 「新府城炎上と武田勝頼」

受講者：132人

第3回 8月12日(土) 「景德院武田勝頼の墓所の発掘」

第4回 10月14日(土) 「躑躅ヶ崎館(武田氏館)の天守台の謎」

第5回 12月16日(土) 「武田氏を支えた土豪たちの世界」

第6回 2月24日(土) 「武田氏と金山衆」

(3) 縄文問答「なるほど！考古博」

新規開催のミニ講座です。考古博物館のエントランスや展示室で講師が実際に出土品を見せながら解説し、縄文時代のさまざまな疑問に答えていただきました。

第1回 5月21日(日) 「探してみよう！！縄文土器の中のタネとムシ」

講師：山梨県埋蔵文化財センター 中山 誠二 氏 受講者：13人

第2回 7月9日(日) 「縄文土器っていいね！」

講師：考古博物館 野代 幸和 氏 受講者：33人

第3回 9月3日(日) 「縄文土器文様の話2」

講師：山梨県埋蔵文化財センター 今福 利恵 氏

(4) 特別展記念講演会

第35回特別展『ひつぎのヒミツ—棺から読み解く古墳時代—』の開催を記念して、講演いただきます。

第1回 10月21日(日) 「古墳時代の木棺」

講師：奈良県教育委員会文化財保存課 岡林 孝作 氏

第2回 11月5日(日) 「東日本の古墳と石棺・陶棺」

講師：東北大学埋蔵文化財調査室 石橋 宏 氏

第3回 11月19日(日) 「棺から読み解く古墳時代」

講師：兵庫県立考古博物館 和田 晴吾 氏

(5) 縄文王国山梨「縄文座談会」

今年度は、最新の発掘成果をもとに、専門家による縄文トークを楽しんでいただきながら、縄文時代への理解を深めていきます。

第1回 会 場：韮崎市民俗資料館

日 時：7月23日(日)

講 師：榎原 功一 氏

「発掘でわかった土器づくり」

第2回 会 場：南アルプス市ふるさと文化伝承館

日 時：7月29日(土)

講 師：中山 誠二 氏

「えっ～お汁粉を食べた縄文人?!」

第3回 会場：釈迦堂遺跡博物館
日時：9月9日(土)
講師：小野 正文 氏
「縄文時代の始まりと終わり」

(6) ものづくり教室～チャレンジ博物館～（風土記の丘研修センター）

小中学生親子を対象に、学校の休業日である日曜日を利用し、体験学習会を開催。
考古学を学ぶ楽しさとももの作り出すよろこびを経験できる企画。

- 第1回 4月16日(日) 「豪族勾玉づくり・
古代衣装で豪族なりきり体験にチャレンジ」
参加者：23人
- 第2回 5月21日(日) 「江戸時代の古銭づくりにチャレンジ」
参加者：20人
- 第3回 6月11日(日) 「縄文時代のかごづくりにチャレンジ」
参加者：13人
- 第4回 7月30日(日) 「弥生時代の銅剣形ペーパーナイフ
づくりにチャレンジ」
- 第5回 8月13日(日) 「縄文時代の石製耳飾りづくりにチャレンジ」
- 第6回 9月10日(日) 「はにわづくりにチャレンジ」
- 第7回 10月 8日(日)・9日(月) 「石包丁づくり・
古代衣装で収穫体験」
- 第8回 11月 5日(日) 「須恵器づくりにチャレンジ」
- 第9回 12月 3日(日) 「干支の土鈴づくりにチャレンジ」
- 第10回 1月14日(日)・21日(日)・2月4日(日)
「縄文土器づくりにチャレンジ」
- 第11回 2月18日(日) 「私の火起こし機づくり・
火起こし体験にチャレンジ」
- 第12回 3月18日(日) 「縄文土偶づくりにチャレンジ」

(7) ものづくり教室～原始古代の技に学ぶ～（風土記の丘研修センター）

高校生以上の一般を対象に、原始古代のすぐれた工芸技術を体験学習する企画。

- 第1回 4月3日(日) 「トンボ玉作り体験」
参加者：15人
- 第2回 5月21日(土) 「琥珀の勾玉作り体験」
参加者：15人
- 第3回 6月11日(土) 「土笛作り体験」
参加者：8人

- 第4回 7月10日(日) 「刀の鍔キーホルダー作り体験」
参加者：22人
- 第5回 8月6日(土)・19日(土) 「トンボ玉作り教室」
- 第6回 9月3日(日)・23日(土) 「環頭大刀飾りキーホルダー作り体験」
- 第7回 10月29日(日)・11月4日(土) 「須恵器作り教室」
- 第8回 12月10日(日)・16日(土) 「青銅鏡形チョコレート作り」
- 第9回 1月13日(土)・20日(土)・2月4日(日) 「縄文土器作り体験」
- 第10回 2月3日(土)・11日(日) 「青銅鏡形チョコレート作り」
- 第11回 3月3日(土) 「草木染め体験」
- 第12回 3月11日(日) 「土偶・古墳形クッキー作り体験」

(8) 史跡文化財セミナー

一般成人を対象として、山梨県内の史跡を巡り、郷土の歴史や文化に対する興味・関心、理解を深めます。

- 第70回 5月14日(日) 「塩山下小田原上条集落を歩く」
参加者：33人
- 第71回 7月30日(日) 「芦川の里を歩く」
- 第72回 3月11日(日) 「大善寺周辺と勝沼宿を歩く」

3 イベント

- (1) こどもまつり For 考古博物館 (公園管理者と共催)
5月3日(水)・4日(木) 考古博物館と周辺エリア
参加者：3,649人
火起こし体験、古代食試食、狩猟体験や史跡ウォークラリーなど考古学や風土記の丘に親んでもらうため、毎年5月の連休期間中に開催していますが、今年度は改修工事中だったため、考古博物館を中心に開催しました。
- (2) 秋のふれあい・第29回風土記の丘こどもまつり (公園管理者と共催)
10月15日(日) 風土記の丘研修センターと周辺エリア
毎年秋に開催している「秋のふれあいまつり」と「風土記の丘こどもまつり」を合わせて開催します。
- (3) 考古博物館エントランスホールでのミニイベント
- ① 4月30日(日) 『甲府城の瓦で拓本しおりに作ろう』
参加者：22人
- ② 11月12日(日) 『風土記の丘探検隊』

- ③ 11月20日(月) 『県民の日イベント』
- ④ 1月 3日(水) 『お正月イベント』
- ⑤ 2月25日(日) 『富士山の日関連イベント』
- ⑥ 3月 4日(日) 『考古博物館 de 春まつり』

(4) 風土記の丘研修センターでのイベント

- ① 6月24日(土)～8月27日(日) 『風土記の丘で七夕飾り』
(公園管理者と共催)
- ② 6月25日(日) 『山梨の七夕人形をつくろう』 参加者：27人
- ③ 9月 2日(土) 『方形周溝墓で星を見る会』 (公園管理者と共催)
- ④ 11月26日(木・祝) 『落ち葉で焼きいも』 (公園管理者と共催)
- ⑤ 1月14日(月) 『古代米でもちつき』 (公園管理者と共催)

(5) 夏休みスタンプラリー

7月15日(土)～8月27日(日)

スタンプブックを持った入館者で希望者がアクセサリー作り体験などをする夏休みの企画です。

- ① 『とんぼ玉をつくろう!』
- ② 『勾玉・大珠をつくろう!』
- ③ 『プラバン・ストラップをつくろう!』
- ④ 『青銅鏡をつくろう!』
- ⑤ 『イロイロ!?土偶づくり』
- ⑥ 『ミニミニ☆発掘体験』

(6) 「夏休み自由研究プロジェクト」への参加

県立博物館の呼びかけによる事業への参加。

7月17日(月・祝) アイメッセ山梨(甲府市)

参加者：130人

(7) 第15回わたしたちの研究室表彰式・発表会

2月10日(土) 考古博物館エントランスホール

(8) 縄文王国山梨

「Jomon FES 2017～縄文まつり～」

日時：10月26日(土) 11:00～17:00

会場：甲府駅北口よっちゃばれ広場

(9) 原始・古代の技術体験学習(風土記の丘研修センター事業)

(6月末現在)

①火起こし体験

参加者：3,512人

②勾玉作り

参加者：2,042人

4 学芸員実習・職場体験・インターンシップ

高校・大学生等の就職先選定に先立つ職場実習であるインターンシップ、主に中学生による職場体験（7月14日現在1校2名）を受け入れた。大学生の学芸員資格取得のための学芸員実習は4名を受け入れ、8月1日～8月11日に実施予定。

学芸員実習	8月1日～11日	明治大学	1人
		川村学園女子大学	1人
		大正大学	1人
		駒澤大学	1人

5 古代衣装貸し出し

弥生～古墳時代の貫頭衣、古墳時代の豪族の衣服である胡服や巫女の服、古墳～奈良時代の女官や官吏の服を貸し出し、学校教育やイベントでの活用を進めています。

5月9日（火）～6月1日（木） あけぼの支援学校

合計：1件

6 ボランティアガイドの実施

考古博物館協力員に研修を受けていただき、ボランティアガイドとして来館者の展示解説を実施。総勢15名で活動中。

4月	2日間（延べ	4名；開館日数26日）	
5月	14日間（延べ	18名；開館日数26日）	
6月	3日間（延べ	6名；開館日数26日）	
7月	13日間（延べ	19名；開館日数26日）	（7月14日現在）

◇ 考古博物館利用状況について

次の4項目については、次ページ以降をご覧ください。

- (1) 総入館者数
- (2) 特別展入館者数
- (3) 学校関係利用状況
- (4) 考古博物館総利用者数

考古博物館觀覽者數 (常設展・特別展)

平成29年6月末日現在 (單位:人)

年度	開館 日數	常 設 展										特別展	合計 (常設・特別)	果 計				
		個 人		団 体		引 引(引)券・宿 泊 等		旅 行 社 一 般 小・中・高		年 間 バ ス ボ ー ト					高 齡 者 身 障 者	土 曜 日 (小・中・高)	教 育 課 程	招 待 者
57	115	12,017	3,412	6,885	538									4,130				
58	295	16,957	6,423	10,948	1,742									8,744	3,981	48,795	57,190	87,877
59	298	14,282	4,968	6,329	3,276									9,327	2,540	40,722	45,961	133,838
60	298	12,679	4,431	5,209	3,116									7,593	2,660	35,628	39,643	173,481
61	302	14,667	4,154	4,370	3,651									7,471	3,793	38,106	48,120	221,601
62	298	16,056	4,588	4,760	1,951									8,957	2,558	38,880	42,397	263,998
63	296	15,822	4,522	3,014	4,667									7,613	3,916	39,554	44,677	308,675
1	299	16,349	4,813	5,059	6,332									7,147	2,982	42,682	48,307	358,982
2	301	17,777	5,123	4,691	6,700									10,504	2,807	47,602	54,199	411,181
3	300	15,775	4,422	4,538	7,541									8,975	3,684	44,935	50,724	461,905
4	296	14,329	3,788	4,215	8,046									6,807	3,610	40,795	46,969	508,874
5	289	13,272	3,865	3,836	8,211									8,164	3,492	40,640	45,231	554,105
6	294	11,769	3,163	1,764	7,216						48			7,388	3,708	35,036	41,322	595,427
7	291	12,519	2,749	1,548	5,076						11,230	4,422	6,845	3,573	47,962	138,044	733,471	
8	283	9,079	2,055	1,426	6,089						3,455	1,028	4,908	2,910	30,950	49,483	782,904	
9	291	7,470	1,795	1,073	5,694						2,633	443	4,125	2,442	25,575	5,195	30,770	813,674
10	290	7,057	1,566	556	5,410						3,596	446	4,166	2,283	25,080	38,245	851,919	
11	288	6,283	1,705	521	4,208						2,339	332	4,409	1,639	21,636	6,812	880,367	
12	288	5,616	1,459	797	2,958						3,201	267	3,919	1,877	20,094	9,227	909,688	
13	292	5,717	1,560	800	2,271						2,517	250	3,683	1,191	17,989	6,035	933,712	
14	289	5,423	1,398	396	2,598						2,670	569	3,397	1,428	17,879	6,373	957,964	
15	290	4,444	1,312	479	2,379						2,887	571	3,465	1,065	16,602	8,127	982,693	
16	298	4,377	1,141	557	1,822						2,397	331	3,519	1,202	15,346	5,064	1,003,103	
17	296	4,432	1,105	307	2,874						3,265	440	3,093	1,089	16,555	5,154	1,024,812	
18	300	4,876	1,222	326	3,543	5					35	537	3,145	1,863	18,428	4,613	1,047,853	
19	301	17,512	7,004	346	3,482	38	30				608	3,139	4,747	2,070	50,887	51,241	1,149,981	
20	298	4,548	2,187	229	4,276	158	17	63			261	2,944	525	3,919	2,268	22,493	29,042	1,179,023
21	290	4,537	2,524	212	3,854	938	89	14			43	3,049	3,553	2,429	21,847	5,068	1,205,938	
22	300	3,858	1,958	305	4,128	716	68	78			270	2,562	3,798	2,433	20,570	4,329	1,230,637	
23	299	3,768	2,073	202	5,167	1,176	64	140			254	2,948	837	4,008	23,659	6,773	1,261,269	
24	296	4,360	6,884	85	5,056	16,900	618				825	21,177	1,697	3,699	3,055	64,865	129,221	1,390,490
25	293	3,833	3,798	186	4,168	724	55	52			274	3,343	713	3,286	23,125	6,545	1,420,160	
26	288	4,393	8,247	131		422		11			260	3,019	3,930	2,874	23,227	5,017	28,244	1,448,404
27	297	4,669	8,202	51		998					246	3,889	3,653	3,014	24,722	5,945	30,667	1,479,071
28	297	4,583	6,877	110		536		4			172	3,728	3,704	2,667	22,371	6,044	28,415	1,507,486
29	79	1,157	3,482	20		22					41	1,300	1,526	1,073	8,621		8,621	1,516,107
計	10,195	326,202	129,965	76,081	137,840	23,849	1,067	136	535	3,517	102,587	17,297	191,257	93,603	1,104,036	412,071	1,516,107	

特別展観覧者数

平成29年6月末日現在 (単位:人)

年度	開館日数		個人		団体		前売券	旅行会社 ツアーホム	年間バス ポート	高齢者 身障者	土曜日 (小・中・高)	教育課程	招待者	計	1日 平均	回	内容
	大学・一般	小・中・高	大学・一般	小・中・高	大学・一般	小・中・高											
58	46	2,807	723	1,405	215							1,800	1,445	8,395	183	1	土偶
59	35	1,840	308	926	26							1,194	945	5,239	150	2	縄文時代の酒造具
60	37	1,362	161	832	36							785	839	4,015	109	3	山梨の中世陶磁
61	56	3,232	520	1,065	8							2,585	2,604	10,014	179	4	古代甲斐国と畿内王権
62	29	1,461	274	317	28							571	866	3,517	121	5	古代官道と甲斐の文化
63	28	1,924	242	359	24							1,008	1,566	5,123	183	6	古代の装身具
1	31	1,098	264	616	316							2,522	809	5,625	181	7	一粒の稲展
2	36	1,503	242	448	81							3,549	774	6,597	183	8	古墳時代が聞こえる
3	36	1,100	199	350	3							3,318	819	5,789	172	9	縄文土器その心象世界
4	36	2,263	344	414	115							1,903	1,135	6,174	161	10	天下人の時代
5	35	840	101	231								2,446	973	4,591	131	11	山梨の経塚
6	36	2,414	534	96								1,947	1,295	6,286	175	12	古墳時代の甲冑
7	44	55,623	9,554	1,943	576							4,273	4,303	90,082	2,047	13	黄金の都シカガ発掘展
8	32	7,999	1,432	259	219					10,045	3,765	2,140	420	14,059	439	-	ネアンデルタール人の復活展
9	19	1,268	178	92						583	125		2,178	4,424	233	14	新発見考古選展
10	33	1,683	167	189						587	62	797	1,770	5,195	157	15	韓国・忠清北道の古代文化展
11	39	1,985	394	166	457					1,711	208	1,948	2,633	13,165	299	16	遙かなるエジプト展
12	39	2,842	383	179	173					611	87	1,634	1,478	6,812	175	17	縄文の旅
13	44	1,555	309	205	205					1,548	94	1,126	2,882	9,227	237	18	中国四川省古代文物展
14	38	1,884	449	274	89					721	92	1,913	1,035	6,035	137	19	黄金の輝き
15	38	1,965	133	126						737	142	1,423	1,375	6,373	168	20	技と美の誕生
16	46	1,052	116	285	14					1,257	145	2,227	2,274	8,127	214	21	大トルコ展
17	58	942	167	206	234					615	109	1,745	1,156	5,064	110	22	縄文の女神展
18	51	993	191	115	42					828	109	1,805	863	5,154	89	23	山の民と海の民
19	52	12,958	2,908	498	355				20	302	83	1,546	812	4,613	90	24	甲府盆地から見たヤマト
20	55	647	428	164	592				18	9,468	2,507	2,035	729	51,241	985	25	世界遺産ナスル展
21	51	605	420	39	351				14	874	90	1,628	905	6,549	119	26	埋められた財宝
22	51	453	236	40	390					667	68	748	1,128	5,868	99	27	卑弥呼時代の黄金世界
23	50	810	338	92	1,124					652	44	961	751	4,329	85	28	発掘された女性の系譜
24	50	12,437	4,782	193	999					899	102	1,069	1,154	6,773	135	29	縄文土器名宝展
25	55	563	1,504	104	674					18,095	1,309	1,474	2,404	64,865	1,297	30	インカ帝国展
26	44	672	1,172	23						708	82	973	1,103	6,545	119	31	食いしんぼうの縄文人
27	45	927	1,039	83						586		886	1,225	5,017	114	32	掘り起こされた昔の形
28	50	1,063	1,542							805		923	1,110	5,945	132	33	縄文の美
29										964		943	973	6,044	121	34	箱から読み解く古墳時代

学校関係利用状況

平成29年6月末現在 (単位：校、人)

年度	県内										県外										合計					
	小学校			中学校			高校			計			小学校			中学校			高校				計			
	校数	人数	人数	校数	人数	人数	校数	人数	人数	校数	人数	人数	校数	人数	人数	校数	人数	人数	校数	人数			人数	校数	人数	人数
7	93	5,814	683	7	348	115	6,845	53	3,999	12	1,077	2	173	67	5,249	182	12,094									
8	67	4,353	515	2	40	81	4,908	62	4,384	12	1,062	2	122	76	5,568	157	10,476									
9	53	3,437	474	5	214	68	4,125	67	4,524	12	1,118	1	56	80	5,698	148	9,823									
10	61	3,723	397	1	46	71	4,166	46	3,213	12	1,316	4	855	62	5,384	133	9,550									
11	60	3,723	577	4	109	75	4,409	45	3,109	9	907	1	120	55	4,136	130	8,545									
12	57	2,987	659	9	273	81	3,919	38	2,387	5	465			43	2,852	124	6,771									
13	58	3,059	285	3	339	80	3,683	26	1,681	7	540			33	2,221	113	5,904									
14	52	2,781	457	5	159	72	3,397	33	1,934	7	628			40	2,562	112	5,959									
15	68	3,143	234	3	88	79	3,465	31	1,678	8	635	1	81	40	2,394	119	5,859									
16	56	2,980	323	4	216	73	3,519	25	1,551	2	140	1	29	28	1,720	101	5,239									
17	51	2,797	275	1	21	67	3,093	32	2,325	5	345	2	69	39	2,739	106	5,832									
18	54	2,976	162	1	7	64	3,145	37	2,818	10	595			47	3,413	111	6,558									
19	80	3,704	937	6	106	108	4,747	44	3,149	5	474			49	3,623	157	8,370									
20	66	3,341	402	1	176	79	3,919	46	3,335	12	898			58	4,233	137	8,152									
21	65	2,950	539	5	64	86	3,553	42	2,947	11	919	1	45	54	3,911	140	7,464									
22	58	3,075	568	6	155	76	3,798	48	3,270	12	1,073			60	4,343	136	8,141									
23	63	3,315	467	6	226	82	4,008	64	4,694	8	922			72	5,616	154	9,624									
24	60	2,985	532	6	182	78	3,699	58	4,029	12	1,008	1	72	71	5,109	149	8,808									
25	57	2,705	545	1	36	77	3,286	56	3,579	11	901			67	4,480	144	7,766									
26	65	2,989	747	4	194	86	3,930	53	3,654	9	840			62	4,494	148	8,424									
27	62	3,026	361	5	266	81	3,653	58	4,231	11	804	1	29	70	5,064	151	8,717									
28	63	2,841	767	2	96	81	3,704	48	3,089	12	815	1	5	61	3,909	142	7,613									
29	27	1,031	412	1	83	41	1,526	37	2,573	5	424			42	2,997	83	4,523									
計	1,662	92,794	343	13,927	95	4,135	110,856	1,253	88,975	248	21,834	51	3,486	1,562	114,295	3,652	225,151									

(参考) H28年6月末現在

28	32	1,312	14	709	1	78	47	2,099	33	2,060	5	361		38	2,421	85	4,520
----	----	-------	----	-----	---	----	----	-------	----	-------	---	-----	--	----	-------	----	-------

考古博物館 総利用者数

平成29年6月末日現在 (単位:人)

項 目	26年度	27年度	28年度	29年度	増減		事業内容
					対H28 6月末比	H26~28平均 6月末比	
常設展 観覧者数	23,227	24,722	22,371	8,621	10.9%	6.3%	
特別展 観覧者数	5,017	5,945	6,044				
企画展 観覧者数	14,075	13,076	13,047	6,453	9.6%	3.4%	春季・夏季・冬季企画展、わたしたちの研究室、富士山の日ミニ展示、山梨の遺跡展等
主催事業 参加者数	22,676	18,132	23,591	7,424	13.6%	11.6%	
講座等	676	760	572	349			史跡文化財セミナー、考古学講座、館長講座、縄文問答等
ものづくり教室	459	464	572	212			原始古代の技に学ぶ、チャレンジ博物館
体験学習	8,737	8,777	8,403	5,562			勾玉づくり、火起こし、その他(土鈴、縄布、青銅鑄等)
イベント等	10,898	7,132	12,557	206			夏休み自由研究プロジェクト(アイメッセ)、夏休みスタンプラリー、縄文王国関連イベント、真夏の日イベント、古代のもちつき、わたしたちの研究室発表会、考古博物館春まつり等
風土記の丘こどもまつり	1,906	999	1,487	1,095			(GW期間中2日間開催)
研修センター利用者数	1,736	2,343	2,210	280	※ △30.7%	※ 3.8%	
風土記の丘望見展観覧者数	119	522	737				
施設利用	1,617	1,821	1,473	280			講堂、研修室 【別掲】テニスコート利用者数 H26:2,054、H27:1,548、H28:2,967、H29:794
総利用者数	66,731	64,218	67,263	22,778	※ 8.4%	※ 7.0%	

※別掲としたテニスコート利用者数を含む増減

図考古博物館協議会(H28.12) 委員提言に対する対応・検討状況について

No.	委員提言概要(H28.12.7)	対応・検討状況
1	・案内表記(国道・駐車場)について、英訳のスペルが誤っているのでは。 ・複数の英訳があるため、統一を検討すること。	・英語版パンフレットをはじめ多くの表記では「archaeology」(イギリス英語)であるのに対し、博物館前と国道の案内の2ヶ所は「archeology」(アメリカ英語)となっている。誤りではないため、問題ないと考える。
2	・風土記の丘全体で、「縄文村」などわかりやすいキャッチフレーズを検討しては。	・考古博物館を含む曽根丘陵一帯を「甲斐風土記の丘」の愛称で呼んでいる。全国に風土記の丘は16ヶ所あり、現状ではふさわしい愛称と考える(近々にはこれを紹介したガイドブックも刊行)。
3	・特別展を実施する場合、常設展を移動して開催している状況であるため、特別展示室の設置など、建物全体のリニューアルを検討しては。	・引き続き老朽化等に対応するため、必要な予算要望を行う。
4	・県外の博物館と連携し、ストーリーを持たせることができれば、古代の人々への想像力も高まるのでは。	・県外博物館との連携については、引き続き検討の段階である。長野・新潟とはこ3～4年相互に資料を借用・貸出しており、これを通じて情報共有を図る。
5	・出張展示について、他の場所も検討すること。具体的には学校のPTA学習会の場など。土器の展示など保護者の興味をひくことも重要。	・今年度も埋蔵文化財センターの事前支援事業で対応する。(7月11日現在、5校で土器作り等、8校へ遺物貸出)
6	・チャレンジ博物館の参加者が少ない。子どもや保護者が土日忙しいこともあり、夏休みにイベントを多く開催してもらいたい。	・夏休み中は、チャレンジ博物館のほか「夏休みスタンプラリーイベント」とともに、夏季企画展「考古博の土偶」にちなんだクイズラリーやお絵かきイベントを開催する予定。
7	・考古学の苦手な教員が存在。副読本はあるのか。	・『見学の手引き』の改訂版を作成中。ホームページで公開予定。
8	・デジタル教材があればおもしろい。全国的に広がる可能性がある。 ・現在は参加型の展示が増加。SNSで拡散できたり、触ったりできる展示が必要。	・多額の費用が必要であり、建物の老朽化対応とともに検討する。
9	・英語の他に、中国語や韓国語に対応していないことは問題	・タブレットを導入し、英語による館内案内に対応。また、館内パンフレットは英訳版を作成済。 ・まずはHP、説明パネル等の英訳を随時実施するとともに中国語及び韓国語についても、パンフレットの作成を検討する。(観光部国際交流課へ翻訳を依頼予定)
10	・広報力及びアクセスについて課題がある。縄文フェスのような取組を継続すること。	・「縄文王国山梨」を広く県民に知ってもらえるよう、縄文フェスを今年度も開催予定(10月21日)。
11	・美術館・文学館は地域の回覧板に特別展の情報が回ってくる。特に文学館は招待券の配布まである。地元地域だけでも同様の取組が行えないか。	・地元(旧中道町)に夏季企画展、特別展の案内を配布予定。
12	・山梨の魅力を知ってもらえるよう、小中学校に対する取組を強化すること。	・毎年、7～8月と10月に総合教育センターと連携し教員対象の研修会を開催しており、1～2月には東京都内の教育委員会等を訪問。

山梨県考古博物館協議会委員名簿

(任期 平成二十八年十月二十三日～平成三十年十月二十二日)

区分	役職等	氏名	出身分野 (勤務先等)
委嘱	(株)富士レークホテル取締役	井出薫子	社会教育関係
委嘱	山梨県旅館ホテル生活衛生同業組合顧問	笹本森雄	社会教育関係
委嘱	(株)タンザワ代表取締役会長	丹沢良治	社会教育関係
委嘱	NHK甲府放送局局長	辻村和人	社会教育関係
委嘱	甲府市男女共同参画 推進委員会委員	中村京子	社会教育関係
委嘱	山梨県市町村教育委員会 連合会副会長	堀内正基	社会教育関係 (北杜市教育委員会教育長)
委嘱	山梨県PTA協議会 親子安全会・扶助会代表	前田友也	家庭教育関係
委嘱	山梨郷土研究会常任理事	石川博	学識経験者 (駿台甲府小学校・中学校・ 高等学校指導監)
委嘱	山梨県考古学協会会長	田代孝	学識経験者
委嘱	山梨県立考古博物館協力会会長	長澤宏昌	学識経験者
委嘱	国立大学法人東京大学准教授	堀内秀樹	学識経験者
委嘱	甲府昭和高等学校非常勤講師	古屋美代	公募
委嘱	住家庭	渡邊富孝	公募
任命	山梨県公立小中学校長協会	小林千澄	学校教育関係 (笛吹市立境川小学校校長)
任命	山梨県高等学校長協会	丹沢公彦	学校教育関係 (県立市川高等学校校長)

(平成二十九年七月現在)

出身分野別五十音順

山梨県附属機関の設置に関する条例(抜粋)

(趣旨)

第1条 この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法第138条の4第3項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

(附属機関の設置及び担当事務)

第2条

2 教育委員会の附属機関として、次に掲げる機関を設置する。

(略)

山梨県立美術館協議会

山梨県考古博物館協議会

山梨県地方産業教育審議会

山梨県文学館協議会

3 第2項の規定により設置される附属機関の担任する事務は、別表第1の担任事務欄の掲げるとおりとする。

(組織)

第4条 附属機関は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。

2 委員は、別表第1、別表第2及び第3の委員要件欄に掲げる者のうちから、知事(教育委員会の附属機関にあっては、教育委員会。以下同じ。)が任命し、又は委嘱する。

3 委員の任期は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員の任期欄に掲げるとおりとする。

(会長等)

第5条 附属機関に、規則で定めるところにより、会長又は委員長(以下「会長」と総称する。)及び副会長又は副委員長(以下「副会長」と総称する。)を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 副会長が置かれていない附属機関にあっては、会長に事故あるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

(会議)

第6条 附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、規則で定める場合を除くほか、委員の2分の1以上が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、附属機関の担当事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、規則で定める。

別表第1(第2条、第4条関係)

2 教育委員会の附属機関

附属機関	山梨県考古博物館協議会
担任事務	博物館法第20条第2項の規定による山梨県立考古博物館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務
委員の定数	15人以内
委員の要件	1 学校教育の関係者 2 社会教育の関係者 3 家庭教育の向上に資する活動を行う者 4 学識経験のある者
委員の任期	2年

山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則(抜粋)

(趣旨)

第1条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(補欠委員の任期)

第3条 委員に欠員を生じた場合における補欠の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第4条 条例第5条第1項の規定により、附属機関に会長及び副会長一人を置く。

(定足数の特例)

第5条 条例第六条第二項の規則で定める場合は、次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議について、同表の定足数欄に掲げる数の委員が出席しなければ開くことができない場合とする。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
定足数	過半数

(定例会及び臨時会)

第12条 次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議は、定例会及び臨時会とし、定例会の開催回数は、同表の開催回数欄に掲げるとおりとする。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
開催回数	年2回

2 前項に規定する臨時会は、必要に応じて開催する。

(庶務)

第13条 附属機関の庶務は、次の表の所属欄に掲げる所属において処理する。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
所属	考古博物館

(委任)

第14条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮って定める。

※ 参考

博物館法(抜粋)

(博物館協議会)

第20条 公立博物館に博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第21条 博物館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。